

設定モードで行う機能

設定モード一覧表 / 操作方法					
項目	表示	初期値	設定値	機能	
C01 通信方式	C01. CLMOD	UC	UC/PR	通信方式の選択	
C02 自局ID	C02. MY-ID	001	001 ～ 200	自局IDの設定	
C03 グループID	C03. MYGID	01	01 ～ 30	グループIDの設定	
F01 送信チャンネル	F01. TXCH	LAND	LAND/SKY	陸上波 / 上空波の選択	
F02 ビープレベル	F02. BEEP	08	00 ～ 15	操作音（ビープ音）の音量設定	
F03 外部マイク感度	F03. EXMIC	LV 0	-18/-12/-6/-3/0/+3/+6/+10	外部マイクの感度設定	
F04 内部マイク感度	F04. INMIC	LV 0	-18/-12/-6/-3/0/+3/+6/+10	本体内部マイクの感度設定	
F05 送信出力	F05. TXPWR	HIGH	OFF/LOW/MID/HIGH	送信出力の設定	
F06 緊急アラーム機能	F06. EMERG	OFF	EMRTX/EBEEP/OFF/BP+T/SLNT	緊急アラーム機能の動作設定	
F07 自動電源オフ	F07. AT-P0	OFF	OFF/ON	電源切れ忘れ防止機能の設定	
F08 PTT ホールド	F08. PTHLD	OFF	OFF/ON	PTT ホールド動作の設定	
F09 外部スピーカー設定	F09. E-SPK	STD	STD/OPT	スピーカーマイクの特性補正	
F10 スーパーセーブ	F10. \$SAVE	OFF	OFF/ON	電池/バックの持ち時間をセーブ	
F11 プログラマブルキー	F11. P-KEY	SCAN	SCAN/LIGHT/MUTE	プログラマブルキーの設定	
F12 スキャンチャンネル	F12. SCANM	CH15	CH01 ～ CH55	スキャンチャンネルの設定	
F13 スキャン受信機能	F13. SC-RX	ON	ON/OFF	スキャン機能の着信後のスキャン再開設定	
S01 シリアル番号確認	S01. S/N	—	—	販売店および営業所サービス確認用	
S02 CSMコード確認	S02. CSM	—	—	販売店および営業所サービス確認用	
F99 設定リセット	F99. RESET	OFF	OFF/ON	各種設定を初期値（ご購入時の状態）に戻します	

- 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入れたと、「VXD1S」→「SET.MODE」が表示されます。その後、設定モードの「C01.CLMOD」が表示され[MODE]キーを放します。
- [MODE]キーを短押しして、項目を選択します。
例：F02.BEEPを選択した場合

補足

[MODE]キーを長押しするごとに設定モードの項目を後退します（F01. TXCH→C03. MYGID...に後退します）。
- [▲]または[▼]キーを押して、設定値を選択します。

補足

○[MODE]キーを長押しすることで、選択をキャンセルすることができます。
○「C02.MY-ID」を設定する場合は、[プログラマブル]キーを短押しするごとに桁移動ができます。
- [MODE]キーを短押しして確定します。必要に応じて、同様に他の項目を設定します。その後電源を切り設定は終了します。

希望の音量レベル（点滅）

上空波の送信切り替え設定（F01. TXCH）

上空波を送信可能なチャンネルに設定します。

- 一度電源を切り、[MODE]キーを押しながら電源を入れたと、「VXD1S」→「SET.MODE」が表示されます。その後、設定モードの「C01.CLMOD」が表示され[MODE]キーを放します。
- [MODE]キーを3回短押しして、「F01.TXCH」を選択します。
- [▲]または[▼]キーを、短押しして、「SKY」を選択します。

LAND（初期値）陸上波（CH01～CH30）が送信可能で、上空波（CH51～CH55）が受信のみになります。
上空波（CH51～CH55）が送信可能で、陸上波（CH01～CH30）が受信のみになります。
- [MODE]キーを短押しして確定します。その後電源を切り設定は終了します。

ビープ音の設定（F02. BEEP）

キーやスイッチを押したときに鳴る確認音の音量を設定します。

00 ～ 08（初期値）～ 15	数値が大きいほど音量が大きくなります。
------------------	---------------------

--

外部マイクの設定（F03. EXMIC、F09. E-SPK）

外部マイク感度の設定

外部マイクのマイク感度を設定することができます。

〔低〕-18⇄-12⇄-6⇄-3⇄0〔初期値〕⇄+3⇄+6⇄+10〔高〕
+ 感度が上がります / - 感度が下がります。

--

スピーカーマイクの特性補正

オプションのスピーカーマイクMH-T3A4BとMH-57A4Bのスピーカーオーディオ特性を最適な特性に補正するための機能です。上記のスピーカーマイクを接続して使用するときは必ず「OPT」に設定してください。

STD（初期値）補正は行いません。	
OPT最適な特性に補正します。	

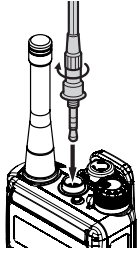
オプションのマイク取り付け

ねじ込み式の防水コネクタを使用しています。MIC/SP 端子キャップを外し、マイクコネクタを押し込み右へまわしきつっかりと締めつけて取り付けます。

- 注意

○ オプション類は、トランシーバーの電源を切った状態で取り付けてください。
○ 締め込みが不十分な場合、接続不良を起こし通話できないことがあります。
- 補足

○ マイクコネクタの端子を時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れていると、接続不良になって、正しく使用できなくなります。
○ オプションを接続しないときは、MIC/SP 端子キャップを雨水等が入らないように確実に取り付けてください。



個別通信を行う（C01. CLMOD ～ C03. MYGID）

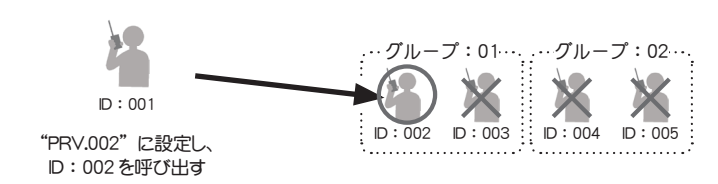
個別通信とは

特定の相手局だけを呼び出したり、自局と同じグループの呼び出しやグループに関係なく一斉に呼び出して通話することができます。

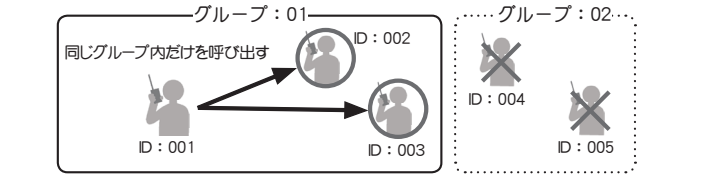
個別通信を行う前の準備：

- 設定モード「C01.CLMOD」を「PR（個別通信）」に設定します。
- 設定モード「C02.MY-ID」で「001 ～ 200」から、各トランシーバーに違うIDを設定します。
- 設定モード「C03.MYGID」で「01 ～ 30」から、自局グループのIDを設定します。
- 全員が同じユーザーコードに設定します。
- 全員が同じユーザーコードに設定します。
- 秘話機能を使用する場合は、全員が同じ秘話コードに設定します。

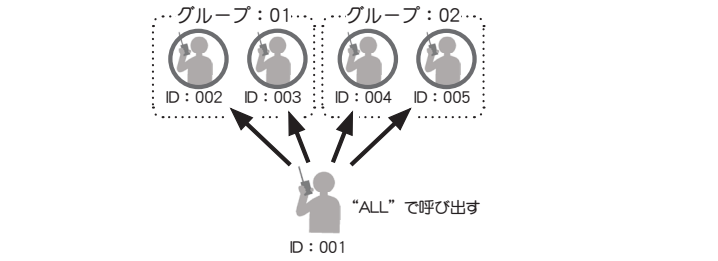
特定の相手局だけを呼び出す（PRV）



自局と同じグループだけを呼び出す（GRP）



一斉に呼び出す（ALL）



内部マイク感度の設定（F04. INMIC）

トランシーバー本体に内蔵してあるマイクの感度を設定します。

〔低〕-18⇄-12⇄-6⇄-3⇄0〔初期値〕⇄+3⇄+6⇄+10〔高〕
+ 感度が上がります / - 感度が下がります

--

送信出力の設定（F05. TXPWR）

送信出力（放射する電波の強さ）を“HIGH”（1W），“MID”（0.5W），“LOW”（0.2W）から選択することができます。距離の近い相手と交信するときは、送信出力を“MD”または“LOW”に設定してください（ディスプレイに“L”が点灯します）。また、本機を受信専用機として使用する場合は“OFF”に設定してください。

OFF	PTT（通話）スイッチを押しても、送信しません（受信専用）。
LOW	送信出力が 0.2W に設定されます。
MID	送信出力が 0.5W に設定されます。
HIGH（初期値）	送信出力が 1W に設定されます。

--

緊急アラーム機能の設定と使用方法（F06. EMERG）

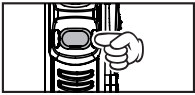
設定モードによる準備

[プログラマブル]キーを長押しすることで、緊急事態をアラーム音とLED インジケータの表示で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して他の仲間に緊急を知らせることができる機能を設定します。

EMRTX	自局のIDを含んだ緊急信号を送出します。また、緊急動作中にPTT（通話）スイッチを押すと、相手局と通話することができます。 補足：この設定は、PR（個別）通信方式時のみ動作します。UC 通信方式時の場合「ボボツ」とエラー音が鳴り、何も動作しません。
EBEEP	トランシーバーのスピーカーから、緊急アラームを鳴らします。 緊急アラーム機能は動作しません。
OFF（初期値）	補足：[プログラマブル]キーの長押し操作がスキャンチャンネルの登録機能として動作します。
BP+T	“EMRTX”の動作を行った後、“EBEEP”の動作を行います。 補足：この設定は、PR（個別）通信方式時に使用しますが、UC 通信方式時に使用した場合は“EBEEP”の動作のみを行います。
SLNT	サイレント状態で緊急信号を送信します。ディスプレイ表示とLED インジケータは緊急動作中にも変化しません。また、緊急動作中にPTT（通話）スイッチを押すと、相手局と通話することができます。 補足：この設定は、PR（個別）通信方式時のみ動作します。UC 通信方式時の場合「ボボツ」とエラー音が鳴り、何も動作しません。

緊急アラーム機能を使用する

[プログラマブル]キーを長押しします。



◎緊急信号を受信したとき：

PR（個別）通信方式で緊急信号を受信すると、ディスプレイに緊急信号を発信した局のIDを表示し、LED インジケータが白色で点滅し緊急受信モードになります。さらに、しばらく何も操作をおこなわないと、電子音が鳴り続けます。

- 補足

○ 電子音は、いずれかのキーを押すと止まります。
○ [プログラマブル]キーを押すと、緊急受信モードは解除されますが、再び緊急信号を受信すると、再度電子音が鳴りLED インジケータが点滅します。

緊急信号を受信したときに、PTT（通話）スイッチを押して送信すると、自動的に“一斉呼び出し”（同じチャンネルに宛られている、全ての局を呼び出す）に切り替わります。

◎緊急アラームの動作を停止する：

電源スイッチを左にまわし切り、電源を切ります。

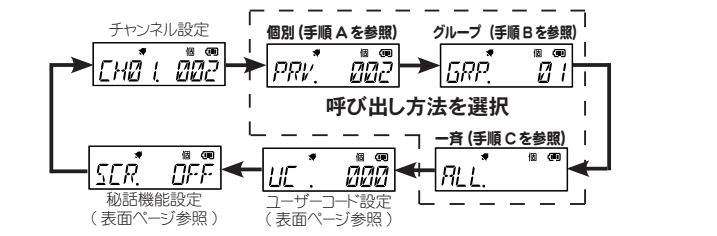
呼び出しを行う

個別通信のしかた：

待ち受けの状態で呼び出し方法を選びます。

[MODE]キーを何度か短押しして、呼び出し方法を選びます。

[MODE]キーを短押ししてから5秒間放置するとチャンネル表示に戻ります。



手順 A）特定の相手だけを呼び出す（PRV）

- 呼び出した相手局の個別番号（PRV ID）を設定して呼び出します。
- [MODE]キーを1回短押しすることで、個別設定の画面が表示します。
 - [▲]または[▼]キーを短押しすると“▼”と“個”のアイコンが点灯し、個別番号の桁目が点滅します。
 - 個別番号が点滅中に[▲]または[▼]キーを短押しして設定します。
[プログラマブル]キーを短押しするごとに桁が移動します。
 - 点滅中に[MODE]キーを短押しするか、約5秒間放置すると個別番号が確定します。または、点滅中にPTT（通話）スイッチを押すと個別番号が確定し、特定の相手局を呼び出します。

手順 B）自局と同じグループだけを呼び出す（GRP）

- 同じグループ内に属する全員を呼び出します。
- [MODE]キーを2回短押しすることで、グループ設定の画面が表示します。
 - [▲]または[▼]キーを短押しするか、約5秒間放置すると“グ”のアイコンが点灯して確定します。または、PTT（通話）スイッチを押すと“グ”のアイコンが点灯して確定し、グループを呼び出します。

注意

設定モード“C03.MYGID”で、呼び出したいグループIDに変更することで、他のグループを呼び出すことができます。

手順 C）一斉に呼び出す（ALL）

グループに関係なく一斉に呼び出します。

- [MODE]キーを3回短押しすることで、一斉呼び出しの画面が表示します。
- [▲]または[▼]キーを短押しするか、約5秒間放置すると“一斉”のアイコンが点灯して確定します。または、PTT（通話）スイッチを押すと“一斉”のアイコンが点灯して確定し、一斉に呼び出します。

自動電源オフの設定（F07. AT-P0）

“ON”に設定するとディスプレイに“O”が点灯し、2時間何も操作しないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源を切り電池の消耗を防ぎます。1分前に警告音が鳴り、電源が切れます。

OFF（初期値）	自動電源オフの設定をOFFにします。
ON	自動電源オフの設定をONにします。

--

PTT ホールド機能の設定（F08. PTHLD）

初期値“OFF”はPTT（通話）スイッチを押している間送信し、放すと待ち受けの状態になります。“ON”に設定するとPTT（通話）スイッチを一度押すと送信状態のままになり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻るホールド機能付きPTT（通話）スイッチに変更することができます。

OFF（初期値）	PTT ホールド機能をOFFにします。
ON	PTT ホールド機能をONにします。

--

- 補足

連続送信時間は5分以内と電波法で定められています。本機では送信を開始してから約4分50秒後に「ヒビヒ」と警告音が鳴ります。5分が経過する前に自動で送信が止まり、待ち受けの状態に戻ります。その後1分間は送信禁止状態になります。警告音が鳴った際は、速やかに送信を中止してください。

- 注意

PTT ホールドは、トランシーバー本体のPTT（通話）スイッチのみ有効となります。（外部マイク等のオプション使用時には設定を必ずOFFにしてください。）

スーパーセーブ機能の設定（F10. \$SAVE）

“ON”に設定すると、待ち受け状態で約2秒間キー操作がないと電池/バックの消耗を防ぐセーブ機能が動作します。信号を受信時またはキー操作を行うとセーブ機能は解除されます。

OFF（初期値）	スーパーセーブ機能をOFFにします。
ON	スーパーセーブ機能をONにします。

--

- 補足

○ スーパーセーブ機能を“ON”に設定すると、PTT（通話）スイッチを押して送信を始めた際に電子音が鳴ります（送信ビープ）ので、鳴った後話をしてみてください。スーパーセーブ機能を“OFF”に設定すると、送信ビープも“OFF”になります。
○ スーパーセーブ機能を“ON”に設定すると、受信中頭切りを起こすことがあります。頭切りを防ぐために、相手局についてもスーパーセーブ機能を“ON”に設定することをお勧めします。

プログラマブルキーの設定と使用方法（F11. P-KEY）

[プログラマブル]キーの動作を設定します。

“SCAN”（初期値） スキャン機能設定参照）、“LIGHT”、“MUTE”の3種類から機能キーとして7つ選択することができます。

SCAN（初期値）	スキャンキーに設定します。
LIGHT	ディスプレイ照明キーに設定します。
MUTE	ワンタッチミュートキーに設定します。

--

ディスプレイ照明機能を使用する

あらかじめ“LIGHT”を選択すると、ディスプレイの照明キーとして動作します。

[プログラマブル]キーを短押しします。
ディスプレイの照明が5秒間点灯します。



◎5秒以内に照明を消灯したい場合：

再度、[プログラマブル]キーを短押しします。

ワンタッチミュート機能を使用する

あらかじめ“MUTE”を選択すると、音量調節ツマミを回さずにワンタッチで音量をオフにすることができます。

[プログラマブル]キーを短押しします。
ミュート中はディスプレイに“MUTE”が点灯し、音量をオフにします。



◎ワンタッチミュートを解除する：

再度、[プログラマブル]キーを短押しします。

または他のキーや音量調節ツマミを回すことにより解除することができます。

ミュート中、3分経過すると自動的に解除されます。

- 注意

緊急アラーム時にワンタッチミュートは動作しません。

呼び出しを受けたとき

個別通信で呼び出しを受けると、電子音（着信ベル）やLED インジケータの点滅（PRV：不在着信機能が動作）により呼び出しがあったことを知らされます。

- 補足

個別通信によるLED インジケータの表示は、「各部の名前と機能の④LED インジケータ」を参照してください。

特定の相手から呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出された相手局のIDが表示され、スピーカーから電子音が1回鳴り、受信中はLED インジケータが水色に点滅し、待ち受け時は点灯します。

個別呼び出して呼ばれた場合：

呼び出してきた相手局のIDが点滅表示され、LED インジケータが水色に点灯したままになります（不在着信機能）。

応答する場合：
PTT（通話）スイッチを押すと相手を呼び出します。

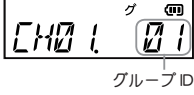
不在着信状態をキャンセルする場合：
任意のキーを短押しします。

- 補足

スキャン機能動作中で“F 13：SC-RX”が“ON”の場合は、不在着信機能は動作しません。

グループ呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出されたグループのIDが表示され、受信中はLED インジケータが水色に点滅し、通話応答待ち受け時は点灯します。
約5秒間放置するとチャンネル表示に戻ります。



一斉呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、一斉呼び出しを示す“ALL”が表示され、受信中はLED インジケータが水色に点滅し、通話応答待ち受け時は点灯します。
約5秒間放置するとチャンネル表示に戻ります。



スキャン機能の設定と使用方法（F12. SCANM、F13. SC-RX）

現在の通話チャンネルと事前に設定したスキャンチャンネルを自動的に切り替えモニターしながら待ち受けできます。スキャンチャンネルの初期値はコールチャンネル（CH15）が登録されています。

プログラマブルキーが“MUTE”または“LIGHT”の機能に設定されている場合は、“F11. P-KEY”を“SCAN”に設定してください。
--

スキャンチャンネルの登録

スキャンしたいチャンネルを事前に登録します。

CH01⇄・CH15〔初期値〕⇄CH30⇄CH51⇄・・・⇄CH55
スキャンしたいチャンネルで[プログラマブル]キーを短押しすると選択したチャンネルに“O”が点灯し登録されます。再度押すと“O”が消灯し登録を解除します。

--

- 補足

ジョイントカットキー：チャンネル設定の画面時にスキャンしたいチャンネルに合わせ[プログラマブル]キーを長押しすると“O”が点灯しスキャンチャンネルが登録されます。再度押すと“O”が消灯し登録を解除します。

- 注意

緊急アラーム機能を設定している場合は、上記記載のジョイントカットキー（スキャンチャンネルの設定）は動作せず、緊急アラーム動作が優先されます。

スキャン再開の設定

着信後、スキャンを再開させるかを設定します。

ON（初期値）	通話終了後“O”が点滅し自動（約5秒）でスキャンが再開します。
OFF	着信後、スキャンは終了し、着信したチャンネルでの受信動作に移行します。

--

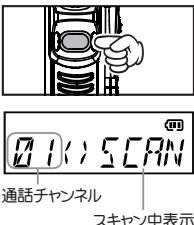
スキャン機能を使用する

スキャンを開始する

[プログラマブル]キーを短押しします。
通話チャンネルと事前に登録したスキャンチャンネルをスキャンします。

- 注意

000 以外のUCコードでスキャン中に、一致しないUCコードの局が通話チャンネルまたはスキャンチャンネルで交信を続けている間は、LED インジケータが緑色に点滅しますがスキャンは停止しません。



スキャンを終了する

スキャン中に[プログラマブル]キーを短押しします。